

(No.4 糸満市立三和中学校)

校種、教科領域	<input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 特支 <input type="checkbox"/> その他 教科 () <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> その他
学校名(団体名)	糸満市立三和中学校 (校長 金城晃)
住所・連絡先	住所：糸満市真壁5 1 9 番地 TEL：098 (997) 2014、FAX：098 (997) 2007
Email	Email：miwa@miwac.city.itoman.okinawa.jp
担当者	中山宏美 教諭(社会科) ※総合的な学習の時間担当、研究主任
主な実践事例	<input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間を活用した全学年共通実践としての平和学習 <input type="checkbox"/> 地域の慰霊塔・戦争遺跡の調査活動 <input type="checkbox"/> 学校独自の平和学習教材の活用
概要等	<p>沖縄戦最後の激戦地、糸満市には6つの中学校がある。そのなかでも、沖縄戦終焉の地である摩文仁を校区内とする三和中学校における平和学習を紹介する。糸満市内では、6つの中学校で平和学習に取り組んでいる。関係者によると、担当教諭の人脈に頼った形での平和学習がほとんどとなっている。そのため、担当教諭の異動等の影響を受けやすく、学校単位での平和学習の蓄積に課題がみられる。</p> <p>三和中学校においては、総合的な学習の時間で、全学年での共通実践として平和学習が明確に位置付けられており、3年間で系統的に取り組む内容となっている。職員の異動にあまり影響されず、地元に着した平和学習の取り組みが推進できる内容となっている。校区内には、魂魄の塔をはじめ数多くの慰霊塔・戦争遺跡が点在している。慰霊塔・戦争遺跡の調査も平和学習に取り入れているが、その中で、戦争体験者の減少による慰霊塔・戦争遺跡の管理に関する課題も目の当たりにしている。</p> <p>中山宏美教諭は、赴任して4年目。今年度は、総合的な学習の時間の担当として、同校での平和学習の取り組みを推進している。終焉の地であり、激戦地でもある同校の教師として、沖縄戦の何を学ぶことが必要なのか、地元の子どもたちに何を伝えないといけないかを日々模索している。</p> <p>中山教諭の協力を通して、同校での平和学習の取り組みについて概要を紹介する。</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 学校独自の平和学習の確立・内容の蓄積 (地域史を踏まえた平和学習のあり方) <ul style="list-style-type: none"> ☞ 継続性のある積み上げが可能な平和学習の構築 ☞ 地域の慰霊塔・戦争遺跡の現状把握、保全活用等に関する平和学習のあり方
提供資料	<input type="checkbox"/> 学校教育計画 (総合的な学習の時間年間計画) <input type="checkbox"/> 実践記録 (写真、感想等) <input type="checkbox"/> 同校発行「三和地区の慰霊塔・碑・ガマ ―ここは戦場だった―」
当館との連携	<input type="checkbox"/> 情報ライブラリーの活用 (県史・市町村史、証言集等)
シェアリングにおける視点	<input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間を活用した全学年共通実践としての平和学習のあり方 <input type="checkbox"/> 地域の慰霊塔・戦争遺跡調査の意義と課題